



一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会  
Nagasaki International Tourism and Convention Association

## DMO マーケティングセミナー Vol.3 「暮らすように旅をする」 ～長崎市で理想の時間を過ごしてもらうためには？～ を開催しました！

(一社)長崎国際観光コンベンション協会(「DMO NAGASAKI」)では、ポストコロナを見据えた戦略ターゲットの1つとして捉えている「クリエイティブクラスの女性層<sup>(※1)</sup>」に向けて、長崎市を旅する新しい魅力づくりと発信強化に取り組んでいます。

その一環として、長崎市内の事業者を中心に「暮らすように旅をする<sup>(※2)</sup>」観光のあり方から今後のビジネスのヒントを探る「DMOマーケティングセミナーVol.3」を10月8日(金)に、伊王島のi+Land nagasakiにて開催致しました。

本セミナーは2部構成で実施。第1部は伊王島を舞台にビーチピクニックやウィンドツーリズムを体験し、第2部は「伊王島海水浴場 コスタ・デル・ソル」を会場にNEXTWEEKENDの村上 萌氏とのトークセッションや事業者とのディスカッションを行い、学びを深めました。

当日は、宿泊・飲食・小売・交通など幅広い事業者に参加頂き、平日の長時間のセミナーにも関わらず、合計38名が参加しました。(第1部・第2部と会場で参加された方が25名、オンラインで第2部のみ参加された方が13名)また、セミナー全体の満足度が100%(大変満足47.6%+満足52.4%)となり「長崎の不足している部分、改善点を明確に言語化されていて、課題を認識できた。」「DMOの取り組み内容を理解することができた」「もっと異業種と交流できる取り組みを増やしてほしいといった声をいただきました。

今後も幅広い多様な関係者にDMOの活動内容や、関係事業者と取り組む内容にご理解を頂く場を設定していくとともに、市内事業者同士の横のつながりや新しいアイデアを創出するためのワークショップなども行い、観光地としての受入向上に努めていきたいと考えております。

(※1)アメリカの経済学者・社会学者のリチャード・フロリダが提唱した階層。社会の仕組みに屈せず、自分の好きなことや好きなものを通して、自らで創造している人々を示す。(※2)「旅そのもの」が目的だった時代から、「自分の趣味や自己実現のための手段」へと変化している旅のしかたの1つ

### DMO マーケティングセミナー Vol.3 「暮らすように旅をする」実施概要

- 実施日時：令和3年10月8日(金) 13:00～17:00
- 実施場所：i+Land nagasaki 「伊王島海水浴場 コスタ・デル・ソル」
- 実施内容：  
(第1部) 13:00～15:00 伊王島で過ごす理想の時間を感じて考えるフィールドワーク  
(第2部) 15:00～17:00 理想の過ごし方をつくるための着想を学ぶテーブルワーク  
(登壇者)  
(一社)長崎国際観光コンベンション協会 DMO推進本部長 豊饒 英之  
コミュニティメディアNEXTWEEKEND 代表 村上 萌氏  
株式会社九州博報堂 一ノ瀬 萌氏
- 実施形式：会場とオンラインでのハイブリッド形式



## 【第1部】 13:00～15:00 伊王島で理想の過ごし方を考えるフィールドワークのご報告

① ビーチピクニック／長崎を感じられる素材をふんだんに使用したランチボックスをビーチで楽しんでいただき、長崎ならではの過ごし方を感じながら考える時間となりました。



### 参加者の事後アンケートより) ビーチピクニックの感想※一部抜粋

- ・地元食材を揃えられている点、メニューとロケーションの雰囲気がマッチしていると感じた
- ・日常の延長線上にある旅感、ガッツと伝わってきました！

② ウィンドツーリズム／角力灘を一望する伊王島灯台コースをトゥクトゥクで、馬込教会や畦の岩這を巡る沖ノ島コースは自転車楽しんでいただき、アクティビティを通した長崎らしい過ごし方を考える時間をとりました。



### 参加者の事後アンケートより) ウィンドツーリズムの感想※一部抜粋

- ・地元の人こそ体感して、訪れる人に伝えられたらいいと思う。
- ・海外のビーチリゾート気分を味わえた。

第1部を通した感想としては、「地元の日常にこそ観光のヒントがありそう」「地元の人がまずは体験して発信するとよさそう」といった声があがっていました。

### 参加者の事後アンケートより) 第1部全体の感想※一部抜粋

- ・同じ長崎市内でも、少し動けばこれだけ違うんだなと感じました。
- ・お客様目線で体験することができたのが、よかったです。
- ・日常にヒントが隠れていることがよくわかった。
- ・地元の人があたり前に思っている所に何かヒントがある気がします。
- ・創ること伝えることそして感じる事が大事だと思った。



## 【第2部】 15:00～17:00 “理想の過ごし方をつくるための着想を学ぶ”テーブルワーク

### 「#DiscoverNagasaki 長崎市観光のこれからを考える長崎人の長崎会議」のご報告

第2部では、第1部で感じたことを意識しながら、これからの長崎の観光に大切なことや必要なことを考えるトークイベントと意見交換を実施しました。

はじめに、DMO推進本部長の豊饒より、DMOが現在取り組んでいる事業や、ポストコロナを見据えた今回の取り組みの企画意図などを説明しました。

次に、九州博報堂一瀬萌氏による「暮らすような旅」が求められている背景や、今回の活動報告を行いました。さらに、NEXTWEEKEND代表の村上萌氏も加わり、「暮らすような旅」を観光客に楽しんでいただくためには今の長崎が持っている資源をどのように届けていく必要があるのかを編集やメディアの仕事に携わっている視点から話をして頂きました。



最後のディスカッションでは、DMO NAGASAKIのメンバーも加わり、事前にいただいていたご質問やご意見をもとに、事業者の方々が現状取り組んでいることや抱えている課題を発表。そのテーマについて村上氏のご自身の観光体験などを交えながら意見を述べられるなど、参加事業者も含めた活発な意見交換が行われました。例えば、「エリア内の店舗が繋がりコラボレーションをした企画をどう発信するといいのか」という宿泊事業者の悩みに、村上氏は「目的地同士の発信ではなく、エリアを歩いて目的地まで向かう道中の楽しみを作るだけでも、市民の日常を味わいたいと感じる方は多く、発信力は強くなると思う」とコメント。参加者は相槌を打ちながら興味深く聞き入り、さらに質問を投げかける様子もうかがえました。



村上氏は、「編集で大切なのはそこに思想やコンセプトがあること。」「一人の生活者の目線から、いつどこで、どんな風に過ごすのがおすすめなのか、という『シーンの提案』や、なくてもいいけどあると嬉しい付加価値をつくるのが大切。」と語りました。

#### 参加者の事後アンケートより) 第2部へのご意見※一部抜粋

- ・村上さんの話されるキーワードに新しい価値観を感じた。
- ・「観光のための特別」をつくるのではなく、自分たちが長崎の魅力を認識する、日常を楽しむ、言語化することの大切さ、当たり前ことができていなかったことを認識しました。
- ・客観的な目線で見えた「長崎」という観光地の位置付けと、そこに対してどう変わっていかないといけないのかがよくわかりました。



参加者の事後アンケートより) 第2部を受けての気づきや今後取り組みたいこと※一部抜粋

- ・まずは、長崎人が長崎を楽しむこと
- ・改めて、誰に何を伝え、どういう気持ちになってほしいか設計した上で、伝え方に気をつけていきたいと思いました。
- ・自分の考えや活動を「言葉」にすること。できることから取り組んでいきたい。
- ・長崎のまちづくりとして大きなプロジェクトが必要と感じた。

魅力が点在しているのでそれを線でつなげて面にするプロジェクトのようなものを私達事業者側としても、長崎の日常を感じてもらい体験してもらい仕掛けを考える必要があると強く感じた。それはハード的に劣っていても今あるソフトの組み合わせをみせることで実現可能だと感じた。

第2部の様子は、期間限定でこちらからご視聴いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=AfSYUMsalKU>

※本動画の情報・画像・音声等を、許可なく転載、転用、複製、複写、編集などの二次利用することは固く禁じます。(閲覧期間は令和3年12月31日まで)

本セミナーを通して、「観光」を特別に考えるのではなく、長崎に暮らしている方が、長崎をもっと楽しみ、その日常を伝えていくことが重要であること、そして、日常の暮らしの中に、「観光」で訪れた方が溶け込んでいく「暮らすように旅をする」ことを考えていただきました。その上で、伝えたい人に、伝わるように「編集」の観点を持ち、素材と素材の掛け算によって創出される「過ごし方」をイメージすることや、事業者同士が繋がりを創りながらビジネスを生み出すこと、さらにはその必要性を感じていただくことができました。

今後、DMO NAGASAKIは、「長崎市を暮らすように旅する」取り組みの1つとして、オンラインワークショップ<sup>(※3)</sup>で出た「長崎市への旅で叶えたいこと」から企画・実施したモニターツアーの記事をNEXTWEEKENDのメディアの中で発信していく予定です。

(※3) 8月21日(土)開催「#DiscoverNagasaki 編集部発足!長崎人が、もっと長崎を好きになるための長崎会議」  
<https://nagasaki-visit.or.jp/wp-content/uploads/2021/08/efc1fe5811104b5e32c49dc989e2df36.pdf>

このリリースに関するお問い合わせ

一般社団法人  
長崎国際観光コンベンション協会 (DMO NAGASAKI)  
DMO推進本部 企画部 担当 坂井、石川

〒850 0862 長崎市出島町1-1 出島ワーフ2階  
TEL.095 823 7423  
FAX.095 824 9128

